



車いすに乗り、鈴木さん<sup>Ⓜ</sup>と走行する生徒たち

# 「自分信じ前を向いて」

## パラ陸上・鈴木さん 光星高で特別授業

パラ陸上の3種目で日本記録を持つ鈴木雅浩さん（44）＝六戸町在住＝がこのほど2日間、八戸市の八戸学院光星高校（中村良寛校長）の普通科スポーツ科学コース1、2年生に特別授業を行った。鈴木さんは「勇

### ハ 戸

気・挑戦、そして夢となれ」と題した講演で「心が折れることがあっても自分を信じ、前を向いてほしい」と力を込めた。

同コース2年生が、7月の県特別支援学校総合スポーツ大会の運営をサポートすることに先立ち、バリアフリーやパラスポーツについて理解を深めるため実施した。

2日目は1年生が同校体育館で授業を受けた。幼少

期の事故の影響で、20代後半から車いす生活を強いられた鈴木さんはある日、50代のパラリンピック円盤投げ銀メダリストに感銘を受けた。鈴木さんも砲丸投げ、円盤投げ、やり投げの3種目の練習を開始。パラ五輪出場はまだ夢の途中だが努力を重ねた結果、出場した日本選手権などで、それぞれ日本記録を樹立した。

鈴木さんは、車いす生活を通して人の優しさに触れたエピソードを紹介しながら「困っている人を見かけたら『どうされました？』とまずは聞いてみてほしい」と話した。

講演後、生徒たちは実際に車いすに乗り、鈴木さんと段差を上ったり、バスケットボールをしたりしながら操作を学んだ。川井美緒さんは「車いすの操作の大変さを知った。運営のサポートをする時に車いすに乗った人がいたら、声をかけて手伝いたい」と話した。

（棟方好華）